

# 漢方医療

## Traditional Kampo Medicine

コース責任者  
総合診療内科教授 松田 隆秀

### 1. 学習目標

#### 1) 一般目標 (GIO)

漢方医療は古来数千年にわたり伝えられてきた歴史があり、洗練された医療である。現在、我が国で9割以上の医師が漢方薬を使用するが、やみくもに用いても薬効はなく、予期せぬ副作用が現れる事もある。更に、我が国は世界でも未経験の高齢化社会を迎えつつあり、漢方治療は高齢者にも対応し得る医療である。そこで日本漢方の基本的な考え方と治療原則を学び、近代西洋医学との融合を念頭に置いた全人的視野で捉えた治療指針を選択できる能力を養う。

#### 2) 行動目標 (SBOs)

1. 伝統医学の国際的な振興の理由と、日本の医療制度の中での漢方医療の現状を知る。
2. 西洋医学と漢方医療の相違、得意・不得意とする分野を述べる事ができる。
3. 日本漢方医療の歴史を知り、中医学との違いが説明できる。
4. 漢方の診察方法(四診)を述べる事ができる。
5. 漢方理論・病態把握(陰陽、虚实、表裏、寒熱、気血水)を理解する。
6. 漢方の治療原則を知り傷寒論の六病位を理解する。
7. 代表的な漢方薬と構成生薬の作用及び副作用について説明できる。
8. 各専門科領域の代表的な漢方治療を理解する。(内科、外科、産婦人科、小児科、皮膚科など)

### 2. 成績評価

出席状況、授業での質疑応答、小テストなどを通して形成的評価を行い、期末テストと合わせて総括的評価を行う。

下記の評価項目を総合して総括評価する。

| 評価項目 | 実施回数 | 評価割合  | 備考              |
|------|------|-------|-----------------|
| 定期試験 | 1    | 90(%) | 後期期末試験期間中に実施する。 |
| 授業態度 |      | 10(%) | 出席状況、学習状況を評価する。 |

### 3. 教科書・参考書

教科書:「学生の為の漢方医学テキスト」(南江堂)

参考書:「絵でみる和漢診療学」(医学書院)

「入門漢方医学」(南江堂)

「漢方医学」大塚敬節著(創元社)

#### 4. 準備学習

教科書である「学生の為の漢方医学テキスト」を購入し、漢方の基本的な予備知識を得て講義に備えること。

#### 5. オフィスアワー

| 所属              | 役職 | 氏名    | 時間                 | 場所                   | 連絡先                      |
|-----------------|----|-------|--------------------|----------------------|--------------------------|
| 内科学<br>(総合診療内科) | 教授 | 松田 隆秀 | 毎週水、金曜日<br>15時～17時 | 医学部本館 6階<br>総合診療内科医局 | 3639 (内線)<br>80598 (PHS) |